

第1表

6日四小発第65号
令和7年2月19日

日野市教育委員会 様

学 校 名 日野市立日野第四小学校
校 長 名 三 浦 寛 朗
(公印省略)

令和7年度教育課程について(届)

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

「すべての“いのち”がよろこびあふれる今と未来をつくっていく力」を育むため、多様な関わりを通して、前向きに学ぶ力を育成する。

ア 目指す児童像

- ◎すすんで学ぶ 【自己決定力】
- 助け合う 【人間関係形成力】
- 楽しく運動する【実践力】

イ 目指す学校像

- 児童が、互いに支え合い、違いを認め合い、自分の成長に自信がもてる学校
- 保護者・地域住民の方々が、安心して子供を通わせ、自らも参画する学校
- 教職員が、児童理解に基づき、組織の中で強みを発揮する学校

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア すすんで学ぶ「自己決定力」を育てるため、文部科学省研究開発学校として、「夢中になれる 夢中にさせる 日野四小」を学校標語とし、学びの変革プロジェクトの探究的な学びを充実させることで、児童一人一人が多様な学び方を身に付け、深く学ぶ力を向上させる。

イ 助け合う「人間関係形成力」を育てるため、多様な関わり、対話の工夫を通して、“いのち”の教育を推進し、道徳教育・生活指導を充実させる。

ウ 楽しく運動する「実践力」を育てるため、体力・運動能力調査、意識調査から児童の強み・弱みを把握した授業実践を通して、体を動かす楽しさ・心地よさ、人と関わる楽しさを向上させる。また、食育の推進により健康な体づくりに資する。

エ 特別活動と関連付け、児童の自治的・自発的な活動を推進するため、みんなで話し合っ自分たちで学校を作っていく「学校行事」児童一人一人の思いや願いをかなえる「学級会」等の特別活動を充実させる。

オ 一人一人の教育的ニーズに寄り添う支援のため、幼稚園、保育園、中学校、関係機関とのネットワークを活用し、特別支援教育、教育相談を充実させる。

カ 社会に開かれた学校づくりのため、感染症拡大防止、保護者・地域住民の授業参画、広報活動、探究学習を通して、地域社会と家庭が協働する。

2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- ① 一人一人の興味・関心に応じた学びの充実のため、マイプランスクール科を創設し、各教科等において主体的、対話的に自分の学びを獲得させる。また、認められる楽しさを味わわせるため、学びのアウトプットの場を設定して保護者や地域社会へ発信する機会を設定する。学校と地域とを連携させることで、社会に開かれた教育課程を実現する。
- ② 学力調査の結果を踏まえ、学力の基礎基本を定着させるため、第3学年以上の算数科習熟度別指導の充実させるとともに、各教科における一人1台学習者用端末の活用を図る。
- ③ 指導と評価の一体化のため、組織的に学習評価の「妥当性」「信頼性」を高めるなど、学校全体として学習評価を充実させる。
- ④ 教科担任制等を推進することにより授業の質を高め、児童が安心して学ぶ力を高めることを目指す。

イ 特別の教科 道徳

- ① 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるため、「考える道徳」「議論する道徳」となるよう道徳科の授業改善を行うとともに、教育活動全体を通じて道徳教育を充実する。
- ② “いのち”の教育(心の教育)のため、道徳授業地区公開講座、わくわく保護者会等における多様な関わりの中で対話することを通し、学校と家庭・地域とが道徳教育を協働する。

ウ 外国語活動・外国語

- ① 日本と外国の言語や文化を体験的に理解させるため、外国語活動の授業を充実し、より英語に親しませる。
- ② 国際的なコミュニケーション能力の素地を養うため、専科担当教員とALT（英語指導補助員）が連携して学習活動を進める。また、ICT機器の活用を図って海外とオンライン交流をしたり、外国人を招致して対面交流をしたりして体験活動を充実させる。

エ 総合的な学習の時間

- ① 学ぶ力・地域社会に貢献しようとする態度を育てるため、地域を学びのステージとした教育資源を活用した探究学習を推進する。
- ② SDGs 未来都市に生きるひのっ子の創造力を育むため、四小SDGsカレンダーを活用して総合的な学習の時間やマイプランスクールを充実させる。

オ 特別活動

- ① 心身の発達と個性伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養うため、学校行事、学級会、たて割り班活動、キャリアパスポートの活用を通して、みんなで話し合って自分たちで学校をつくる活動や児童一人一人の思いや願いをかなえる活動を充実させる。

(2) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 自己指導能力を育むため、「新四小スタンダード」に取り組む。
- ② 相談体制の充実のため、校内支援委員会、ステップ教室、スクールカウンセラー、リソースルーム、エール、警察、児童相談所、子ども家庭支援センター、わかば教室等と連携・協力する。
- ③ 不登校新規ゼロを目指し、欠席1日目から電話連絡、3日目以降は家庭訪問やICT機器を活用した学びの支援を行う。また、問題行動の未然防止、早期対応のため、生活指導夕会での情報共有、家庭訪問を実施する。
- ④ いじめ見逃しゼロ・SOS見逃しゼロを目指し、全学級で「いじめに気付くチェックリスト」を活用する。また、日野第四小学校いじめ防止基本方針に基づき、日野第四小いじめ対策委員会を中心に、未然防止、早期発見、早期対応に組織的に取り組む。
- ⑤ 事故等の要因や防止について理解し、日常生活において進んで安全な行動ができるようにするとともに、周りの人の安全にも配慮できるようにするため、家庭や地域社会との連携を図りながら、学校の教育活動全体を通して安全指導を行う。
- ⑥ 互いを尊重し、自他のいのちを守るため、「安全教育プログラム」等を活用し、生命(いのち)の安全教育を充実させる。

イ 進路指導

- ① 社会的・職業的自立のため、長期的展望に立って、児童の「なりたい自分」に近づくことができるように「キャリアパスポート」を活用した進路指導を充実させる。
- ② 学校と家庭との連携を深め、義務教育9年間を見通し、円滑な進学を図るため、かしのきシートを活用する。

(3) 特色ある教育

- ① 一人一人に合った多様な学びと学び方の工夫のため、“マイプランスクール”として、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実践研究の推進を図る。
- ② 情報モラルを身に付けさせるため、各教科や道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の年間指導計画に情報モラル教育を位置付け、学校教育全体で情報モラル教育を推進する。
- ③ 豊かなスポーツライフの実現のため、学校レガシー2020や体を動かす楽しさや心地よさプロジェクトに取り組み、運動する喜びや人と関わる喜びを味わわせる。
- ④ 新入生の互恵性を高めるため、第四幼稚園と連携し、「給食交流」「お祭り交流」等のスタートカリキュラムを充実させることで、円滑な学校生活の開始に資する。
- ⑤ 1～4年生の一部教科担任制、5・6年生の教科担任制の実施に加え、これまでの成果や課題、また今後の教育界の方向性を受け、改善策を講じながら、より合理的で効果的な取組「チーム担任制」への発展を進める。

第3表

学校名 小00 日野市立日野第四小学校

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	16	206
2	17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	16	206
3	17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	16	206
4	17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	16	206
5	17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	16	206
6	17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	16	206
備考	・振替休業日のない土曜日授業の日数は0日。												

(2) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動の年間授業時数配当表

領域		学年	1	2	3	4	5	6
各教科	国語		282 (-24)	299 (-16)	227 (-18)	227 (-18)	157 (-18)	157 (-18)
	社会				70	90	100	105
	算数		136	175	175	175	175	175
	理科				90	105	105	105
	生活		80 (-22)	75 (-30)				
	音楽		68	70	60	60	50	50
	図画工作		64 (-4)	66 (-4)	60	60	50	50
	家庭						60	55
	体育		102	105	105	105	90	90
	外国語						70	70
	小計		782	840	805	840	875	875
特別の教科 道徳			34	35	35	35	35	35
外国語活動			(0)	(0)	35	35		
総合的な学習の時間					38 (-32)	38 (-32)	38 (-32)	38 (-32)
特別活動	学級活動		34	35	35	35	35	35
	クラブ活動					(16)	(16)	(16)
	委員会活動						(11)	(11)
新設教科マイプランスクール科			50	50	50	50	50	50
総計			850	910	980	1015	1015	1015

備考

- ・1単位時間は45分とする。
- ・スタートカリキュラムを35時間実施する。
- ・クラブ活動は、1単位時間60分とし、年間12回で16時間相当とする。
- ・総合的な学習の時間の名称は「総合的な学習の時間」とする。
- ・研究開発学校制度に基づく教育課程の特例を適用により、標準時数を変更する。
- ・以下の教科の時数を扱い、50時間をマイプランスクール科として実施する。
第1学年…国語科24時間、生活科22時間、図画工作科4時間
第2学年…国語科16時間、生活科30時間、図画工作科4時間
第3～6学年…国語科18時間、総合的な学習の時間32時間
- ・短い時間を活用した指導は、15分とする。全学年、国語科で年間39回の指導のため13時間、算数科で年間13回のため4と1/3時間とする。